

◇ 学校運営協議会 第3回 議事録

○日 時 令和2年2月17日（月）午後6時00分～午後8時00分

○場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室（本館2F）

○テーマ ・令和元年度学校経営計画の達成状況と自己評価について
・令和2年度学校経営計画（素案）について

○出席者（敬称略、委員は50音順）

島田 雅弘	吹田市立片山中学校 校長
土井 実	鳳志会（本校同窓会） 副会長
前田 武男	千一地区連合自治会
村田 徹	大阪薫英女学院中学校・高等学校 校長
室田 園子	本校PTA 会長
手島 肇	本校 校長

○事務局

藤井 秀雄（教頭）、井上 薫（事務長）、磯原 健志（首席）、門野 正太（首席）

○議事

- ・令和元年度学校経営計画の達成状況と自己評価について
- ・令和2年度学校経営計画（素案）について
- ・その他

○主なやりとり

質問：1の（1）ア 遅刻総数について

今年度末の予想と、各学年の差や推移、傾向はどうか。

回答：1700件ぐらいと予想している。今年は3年生の件数が半減した。

質問：どのような取り組みが効果をもたらしたのか。

回答：確たる理由はわからないが、ただ1年から指導が定着してきたようである。

意見：1の（2）ア 学校行事の組織的な取り組みに関する項目の肯定率について
生徒が主体となって積極的に活動できるようにという方向は、間違っていないと思うが、肯定率が低いので、力を入れていただきたい。質問内容の変更も含めて検討が必要ではないかと思う。

質問：1の（2）ウ いじめアンケートの詳細は、どのようなものか。

回答：人権推進委員会が中心として、学校全体の取り組みとして年2回実施している。
少しでも兆候が見られた場合は、情報を共有して組織として早期の解決を図る態勢を整えている。

質問：1の(2)イ クラブ加入率を向上させると教職員の負担にならないか。

回答：仮に生徒の希望通り、新たなクラブを作るとなると、ご指摘のように練習場所や付き添いのことなど、新たな問題が生じるので、一概には難しい問題だと認識している。まずは、加入している生徒の満足度を維持する方向でいきたい。

質問：クラブ活動の週1日の休暇は府教育会の指導か？

回答：府下全体の指針としてノークラブDAYの設定がある。それは、生徒の身体的な負担軽減であるが、教員の負担軽減という面でもある。

意見：2の(2)ウ 土曜講習と2(1)アのCゾーン水準と結果について
これら2つの数値からは、多くの生徒の基礎は確立できているように思える。

意見：4の(1)ア 組織的な学校運営に関する項目の肯定率について
数字を見ると、年によって乱降下している。長期に在職できる校長や首席など次世代リーダーの育成などが課題ではないかと思う。

意見：取り組み計画を、「～しました」だけでなく、したことによって「どのように生徒が変わった」という書きぶりにしていることは正しい方向と思う。

質問：働き方改革関連で、変型労働時間制の導入の動きはあるのか。

回答：大阪府から、具体的な指示はまだない。

意見：私学かなり増えてきている。将来導入できるように体制整備が必要では。
学校全体ベースで設定、個別に学年別に増減し調整。年休取得も促進していこうとしている。

意見：デスクワークが多忙な人ほど見直す時間・余裕もないと考えられる。委員会への調査の回答など実務面の簡素化を是非見直していただきたい。